

IV. 基本目標

第Ⅲ章に掲げた北海道港湾の基本的役割から導かれる北海道港湾が目指す基本目標を、港湾機能、地域振興、空間利用、生活の面から以下の4つとします。

1. ネットワーク機能の強化

産業の発展や、暮らしの消費物資の確保が効果的、安定的に行えるよう、国内、国外、内陸などの各方面とを結ぶネットワーク機能の強化された港湾を目指します。



- ・北海道の産業の発展に貢献するとともに、日々の暮らしに必要な物資の確保が効率的、安定的に行なえるようになります。
- ・北海道で生産される野菜、魚介類、生乳などの食料品や新聞用紙などが安定的に日本国内に供給されるようになります。

2. 地域の活性化と個性の発揮

魅力ある北海道やその海辺の特性を活かしつつ、各地域の活性化や個性の発揮を支援する港湾を目指します。



- ・各地域の特色を活かした産業が活性化され、地域経済の向上、雇用の確保につながります。
- ・北海道の個性を活かすことにより、先導的なプロジェクトが推進されます。
- ・国民に人気のある北海道観光を快適に楽しめるようになります。

3. 暮らし・自然・景観との融合

環境や市民が望む海とみなとの新しい関係を構築するため、暮らし・自然・景観と一体となった快適で愛着のあるみなのを目指します。



- ・水辺や歴史とふれあう機会が増加するとともに、自然環境や景観が向上し、より快適なみなのまちになります。

4. 安全・安心な暮らしの実現

災害の多発する北海道において、道民の安全で安心な暮らしを支援する港湾を目指します。



- ・地震・火山噴火・油流出事故などの災害時への備えが充実し、安全・安心度の高い暮らしができるようになります。
- ・災害時においても本州との物流を安定的に確保できるようになります。